

披露 調べ調なる、妙な浄瑠璃の伝統

三味線奏者の野澤氏が 22日に弾き語りライブ

歌舞伎文化の伝承活動団体「歌舞伎の学校」（事務局・小牧市）は22日午後1時30分から、名古屋市中区栄1の東船本店広小路本店北隣・東ビル4階会議室で「野澤松也創作浄瑠璃・弾き語りライブ in 名古屋」を開催する。歌舞伎や文楽に欠かせない義太夫三味線の伴奏による語り物音楽「浄瑠璃」を披露するとともに、野澤氏の魅力的なトークを楽しむ。

重要無形文化財総合指定保持者である野澤氏が、浄瑠璃や三味線についてわかりやすく解説する

野澤氏は重要無形文化財総合指定保持者。歌舞伎義太夫三味線奏者として、演奏・講演活動を展開している。2004年に「創作浄瑠璃の会」を設立し、創作浄瑠璃の弾き語り活動に取り組んでいる。

今回の演目は、尾張藩主・徳川宗春が活躍した時代に書かれた古典名古屋心中「睦月連理椿 道行の場（むつまじきれんりのたまつばき みちゆきのば）」。また、春日井市生誕とされる平安時代の書家・小野道風をモチーフにした、新作創作浄瑠璃「道風教訓辛抱蛙（どうふうまなびししんぼうがえる）」も披露される。トークタイムには、野澤氏が浄瑠璃や三味線について、質疑応答を交えてわかりやすく語る。

定員は先着順50人。会費は3500円。申し込み・問い合わせは事務局（電話090・21866・2949）まで。

2016年 5月3日(火) 中部経済新聞